凡事徹底

令和7年度 板橋区立板橋第二小学校 学校経営方針

令和7年 4 月 1 日
校長 小澤 裕行

1 学校経営の基本理念

「凡事徹底」

2 板二小が目指す学校像

○子供たち、先生たちが元気な学校

改めて 板二小が目指す学校とは

【子供から見て】

- ① 受容的、共感的、肯定的な雰囲気があふれる学校
- ② 自分の居場所がある学校（一人一人が認められているという思いをもてる学校）
- ③ やればできるという思いを実感させてくれる学校

【教職員から見て】

- ① いつまでも勤務していきたいと思う学校
- ② 誇りをもてる学校
- ③ 各自が職責を果たすと共に、必要な場合助けあい、組織として取り組める学校

【保護者から見て】

- ① 通わせて良かったという思いをもてる学校
- ② 学校ならびに教員を支えたいと思う学校

【地域から見て】

- ① 地域の自慢できる誇れる学校
- ② 学校ならびに教員を支えたいと思う学校

3 板二小が目指す児童像

(学びのエリアで目指す児童像)

「自律」と「自立」

○自ら考え、挑戦し続ける子

○自他を尊重し、自ら判断し、責任ある行動のとれる子

○心と体を大切にし、困難にも立ち向かえる子

🏠 学びのエリアでの具体的な取組

- ① 読み解く力の基礎的読解力を基盤に、自己で決定・選択・調整できる授業等による学力の定着・向上
- ② 一人一台の端末を用いた個別最適な学びの充実と、主体的に学習する力の育成
- ③ SDGs を意識した地域・街との関わりのある総合的な学習の時間の推進
- ④ 児童・生徒の交流活動の充実
- ⑤ 特別の教科 道徳の共通重点指導（「善悪の判断、自律、自由と責任」）の実施
- ⑥ コミュニティ・スクール委員会の活性化
- ⑦ 学級活動を中心とした主体的に考え実践していく態度の育成

5 学校の教育目標

○ **自分でする子ども【自立】【創造】**

自分で学ぶ意欲と強い意志をもち、主体的に実践する児童を育成する。

○ **思いやりのある子ども【貢献】【共生】**

豊かな心をもち、自他の人格を尊重し、人との関わりを大切にする児童を育成する。

○ **じょうぶな子ども**

健やかな心と体をもち、心身共に健全な生活を目指す児童を育成する。

6 板二小の教育活動の二つの最重点項目☆印と、五つの重点項目○印

☆環境教育 ・ビオトープを中心に据えた取組（ユネスコスクールとして）

☆学力向上 ・小中9年間の義務教育をつなぐ「読み解く力」を基盤に、子供自身が自己で決定・選択・調整できる学習スタイルの確立実施による学力の定着向上

○人とのかかわり（良好な人間関係づくり）

○礼儀・規律の徹底

○家庭・地域との連携

○一人一台の端末の効果的な活用

○教科担任制の導入による体育の充実

7 学校の教育目標に関する 目標と具体的な取組

○自分でする子ども……知【自立】【創造】

① 基礎的・基本的な知識・技能の定着

- ・学習規律の確立を図る
- ・読み解く力（読み解く力を育む6つの視点を意識し、教科書を用いて教科書で学ばせる）を基盤として取り組む
- ・ノート指導（ノートへの記録の徹底から内容の充実へ）の充実
- ・個に応じたきめ細かな指導の実施
- ・算数少人数加配教員、学力向上専門員、ボランティア等の効果的な活用。
- ・スタディアップタイムの充実 ⇒読み解く力の育成の継続。
- ・放課後学習教室、夏季学習教室の実施
- ・読書活動の充実 読書を通じて語彙の獲得
- ・書くことの重視

②家庭学習の習慣化

- ・宿題指導の工夫改善（ドリル的学習は、できる限りタブレットパソコンを用いる。
- ・読み解く力に関連する課題を継続的に取り組ませる。
（スタディアップタイムでの「読み解く力」の育成に係わる問題への取り組み）
- ・自主学習の取組推進（4年生以上の自主学習ノートを使っての取組）
⇒ 家庭学習でも 児童自らが決定・選択・調整できる学習の仕方の定着を目指す。

③主体的、協働的な学びのある授業実践

- ・板橋区（学びのエリア）授業スタンダードの実践
（なぜ？問いかけ ・振り返り ・学び合いの重視）
- ・言語活動を重視した授業の実施
- ・体験活動を取り入れた授業の実施
- ・一人一台端末の効果的な活用（デジタル教科書、電子黒板、実物投影機、など全ての ICT 機器を含む）
- ・読み解く力の基礎的読解力を基盤に、児童一人一人が自己で決定・選択・調整できる学習スタイルの確立と実施による学力の定着・向上 ⇒学びのエリアの取り組み
- ・探求的な学習の推進（総合的な学習の時間）
- ・学級や学校における生活づくりへの参画（学級活動）
- ・第二図書室の活用 ペアやグループでの協働学習時に積極的に活用する。

○思いやりのある子ども……徳【貢献】【共生】

①挨拶・返事・清掃活動の重視

- ・挨拶は「自分から 気持ちをこめ 誰にでも 欠かさず」
相手の目を見て 聞こえる声で
- ・返事は「欠かさず、聞こえる音量で 誰にでも」
- ・清掃活動は静かに 隅々まで 心を「こめて」 迅速に

②心の教育の充実

- ・道徳授業の充実 特に「善悪の判断、自律、自由と責任」を重点にして
(児童の振り返り、ノートへの記入、)
- ・人権感覚の醸成
(栽培飼育活動を通じて、人権に関する講話、道徳、いじめ防止月間、いじめアンケート、いじめ防止基本方針)
- ・ルールとマナーの遵守の徹底 (生活指導の充実)

③人に喜ばれる、人を気持ちよくさせる行動の重視

- ・地域清掃、募金活動などへの取組

④豊かな人間関係作りの推進

- ・異学年交流 (たて割班による活動 …… 児童集会 遊び 学級会 清掃板二まつり等あらゆる場で工夫して)
- ・良好な学級集団作り (学級経営・専科経営の徹底)
- ・幼保小中との交流活動の実施 (幼稚園、保育所、中学校との交流)
- ・Hyper Q-Uを活用した居場所・充実感のある学級作り
- ・特別活動の取組
(学級活動の時間を大切にし、自分たちの身近なことを自分たちで考える)
(板二まつり、一年生を迎える会、六年生を送る会、各種集会、運動会 音楽会、入学式、卒業式等)
- ・地域人財の活用 (昔遊びや総合学習の郷土愛をはじめとするゲストティーチャー 1年生下校時付き添いなど)

○じょうぶな子ども……体

体育健康委員会を中心に板橋第二小体力向上推進計画に基づき取り組む。

①教科体育の充実

- ・運動の質と量の向上 (教師が各運動の特性をしっかりと理解して指導。意図的計画的な体育の授業実践)
- ・体力調査を踏まえた運動内容の工夫。

②運動の日常化

- ・休み時間の確保と戸外遊びの奨励。
- ・全校持久走月間や校内持久走記録会の実施
- ・全校縄跳び月間の設定、体育朝会での全校縄跳びの実施

③健康教育の推進

- ・食育の取組
- ・「早寝、早起き、朝ご飯」の徹底

8 目指す学校像・児童像からの具体的な目標と取組

(1) どの子ども充実感、帰属感が味わえる学校づくり

①特別支援教育の充実

- ・特別支援教室の充実、

②夢や目標や意欲をもたせる指導・支援

- ・キャリア教育の推進 キャリアパスポートの活用

③達成感や満足感、自己有用感を味わえる場の設定

- ・児童一人一人に様々な役割と活躍の場面を意図的計画的に与える。

(2) 学ぶ環境の整った、美しい学校づくり

①清掃の行き届いた清潔な環境の整備

②整理・整頓された教材・教具

- ・普通教室だけでなく、特別教室、専科教室、準備室も常にきれいに。

③靴のかかところがそろった昇降口、傘がきちんと入れている昇降口

④児童に働きかける教室環境や掲示物の工夫

⑤教室内の統一された掲示物と掲示場所

(3) 安全・安心で、信頼される学校づくり

① 施設・設備・教材の点検と修繕

- ・安全点検日の設定と実施
- ・日常の校内巡視

② 安全に配慮した教育活動の実施

- ・綿密な計画もとの実践

③ 防災・防犯・交通安全指導の実施

- ・防災教室、セーフティー教室、薬物乱用防止教室、不審者対応訓練、情報モラル教室、安全マップ作り等の実施

- ④ 各種マニュアルの整備と改善
 - ・光化学スモッグ対応、高温（気象）対応、欠席時対応、不登校対応、アレルギー対応、不審者対応、保護者対応等
- ⑤ 実際に即した（避難）訓練の実施（アレルギー対応研修等も含む）
- ⑥ 個人情報・個人に関する（係わる）情報への意識
- ⑦ 教員による服務事故防止

（４）保護者・地域等、外部とのつながり

- ① 参観・懇談会・保護者面談・家庭訪問による相互理解の推進
- ② 教育活動の積極的な公開と発信
 - ・ホームページ、学校だより、ほけんだより等を通じての発信。
- ③ 地域人財の積極的な活用
- ④ 保護者による支援、ゲストティーチャー、出前授業
 - ・iCS 地域コーディネーター（学校支援地域本部）の活用
- ⑤ 学校評価の実施と結果の公表
 - 及び学校運営の改善
 - ・iCS による学校運営への参画

9 特色ある教育活動の視点からの具体的な目標と取組

- ① SDG`s の項目や ESD の視点を踏まえた環境教育の推進
 - ・環境教育年間計画の確かな実践
 - ・総合的な学習の時間における「環境」に関する事項の系統性
 - ・ビオトープの活用
 - ・栽培活動の充実
 - ・3R 活動の推進
 - ・児童のビオトープ管理（児童会 環境委員会 地域人財【外部の力】）
 - ・環境教育推進委員会の充実（ユネスコスクール校として）
 - ・各教科、総合的な学習の時間、学活、行事における取組（自然発見カード、1年間の環境教育の取組掲示等）

10 教職員 学校組織に関して

(1) 教職員としての資質向上

① 一人一人を大切にしたい愛情あふれる指導・支援

- ・児童理解、保護者理解、迅速丁寧な支援相談

② 教職員研修による授業力の向上

- ・読み解く力の基礎的読解力を基盤とした児童一人一人が自己で決定
- ・選択・調整できる授業等による学力の定着・向上を目指した校内研究

どの子どもねらいを達成できるような授業の工夫。

- ・悉皆研修、自主研修の活用

③ 板橋（区）授業スタンダードの確実な実践

④ 職層や立場・役割を自覚した行動

⑤ 各自の能力開発

(2) 相互に連携・協力して、課題を解決する組織力の向上 教職員間の活発なコミュニケーションによる組織の活性化

① 支え合う協働的な関係の構築

② 報告・連絡・相談による課題への迅速な組織的な対応

(3) 公務員としての服務規律の徹底

① 服務事故0